

広報



発行 大子町役場 総務課

〒319-3526 久慈郡大子町大字大子866番地

Tel.0295-72-1111(代) 0295-72-1114(直通) Fax.0295-72-1167

<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/>

E-mail soumu@town.daigo.ibaraki.jp

# だ い ご

No.613



狙えゴール！つかみ取れ勝利！（奥久慈大子少年サッカー大会「若鮎杯」）

## 主 な 内 容

- ❖ 東京理科大学大子研修センター開所…2
- ❖ ニュースだ い ご ……………8
- ❖ ふれあい交流センター愛称募集 ……3
- ❖ 保 健 コー ナー ……………9
- ❖ 大子町障害福祉計画を策定 ……4
- ❖ フォトだ い ご ……………12

2009

9

# 東京理科大学太子研修センター開所

旧県立太子二高跡地の有効利活用により町の活性化を図るため、町が県から購入した太子二高跡地を10年間無償貸与することなどを条件に誘致した「東京理科大学太子研修センター」の改修工事が完成し、7月27日に開所式が盛大に開催されました。

式典には、東京理科大学の塚本理事長をはじめ、町から綿引町長、高梨教育長、町議会議員など、県関係からは副知事などの関係者が多数出席して、施設見学や町の食材をメインにした懇親会が行われました。

太子研修センターは、旧太子二高の3階建の校舎を、39部屋の宿泊室（156人収容）や食堂、研修室、物理・生物・化学の実験室に改修し、グラウンド、体育館、テニスコート、弓道場を整備しました。

今後は、町内の小中高の生徒を対象にした理科教室の開催も予定するなど、多くの若者が訪れることで町の活性化につながると期待されています。

## 太子研修センター概要

- 所在地 太子町大字北田気662
- 施設概要 鉄筋コンクリート3階建（全館冷暖房完備）
  - 宿泊室 Aタイプ（2ベット+畳5帖分） 8室
  - Bタイプ（4ベット） 31室
  - 浴室 7～8人用 1、4～5人用 1
  - 食堂 156席
  - 実験室 生物、物理、化学
- その他 300メートルトラック、テニスコート、大小体育館、弓道場

## 今後の利用計画

- 学生・教職員の研修
- 部活・サークル活動
- 小中高生向け理科教室の開催 など

## 町へのメリット

- 学生・教職員等の滞在により交流人口が増加し、文化の向上や町経済及び企業活動の活性化を図ることができる。
- 町内の小中学校、高等学校と連携し、大学の知的資産を活かした交流事業や、出前講座等により、教育環境の充実、質の向上を図ることができる。
- 施設の維持管理、食材の調達・調理などは、町の業者が一括して請け負い経済的な波及効果がある。
- 大小体育館や弓道場等の体育施設は、大学側が使用しないときは、町民も利用可能。





# (仮称)大子ふれあい交流センター愛称募集!

大子町では、中心市街地の活性化と賑わいのあるまちづくりをめざして、(仮称)大子ふれあい交流センターの平成22年4月上旬からの利用開始を予定していますが、この施設が世代間の交流と新しい文化を創造し発信する場として、多くの方から愛され親しまれるような愛称を募集します。

**【応募期限】 9月30日まで** ※郵送の場合は当日の消印有効

## 【賞・記念品】

- (1) **最優秀賞 (1点)** 記念品 (大子町内のホテルペア宿泊券 3万円相当)  
 (2) **優秀賞 (2点程度)** 記念品 (大子町特産品及び大子町公営温泉入浴券2枚)  
 (3) **佳作 (3点程度)** 記念品 (大子町特産品及び袋田の滝観瀑台チケット2枚)

※最優秀作品に複数応募があった場合は、抽選で1人に決定します。

※大子町公営温泉：森林の温泉、フォレスパ大子、道の駅「奥久慈だいご」浴場

**【応募資格】** 町内外を問わず、どなたでも応募できます。

## 【応募方法】

- (1) 様式は自由。  
 (2) ①愛称 (ふりがな)、②愛称の簡単な説明・理由、③氏名 (ふりがな)、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥年齢、⑦性別、⑧職業を記入 (入力) のうえ、郵送、FAX、電子メールでご応募ください。  
 ※ 事務局 (大子町企画観光課) への直接応募も可能です。  
 (3) 応募は1人3点までとし、応募用紙1枚につき愛称は1点のみとします。

## 【愛称の決定・公表】

- (1) 選考委員会で審査・選考のうえ、愛称を決定します。  
 (2) 発表は、広報紙や町ホームページ等で平成22年1月頃に実施する予定です。

## 【作品の取扱い】

- (1) 採用された愛称の一切の権利は、町に帰属します。  
 (2) 作品の採用にあたり、作品 (名称) の一部を補正する場合があります。  
 (3) 作品は、自作かつ未発表のものとし、また、作品は返却しません。

**【応募先】** 〒319-3526 茨城県久慈郡大子町大字大子866  
 大子町企画観光課  
 ☎0295(72)1131 FAX0295(72)1167  
 E-mail kikaku@town.daigo.ibaraki.jp

## 【施設の概要】

設置場所	大子町大字大子722-1 (常陸大子駅前 町営駐車場跡地)
施設の内容	1F:文化ホール(398席)、観光交流ホール、高齢者活動室、大子町社会福祉協議会事務所、大子町観光協会事務所 2F:学童保育室、子育て支援室、養護児童保育室、学習室、会議室
その他	観光、文化、福祉、教育の4つの機能を有する複合施設。 ①観光:観光協会事務所を中心に観光情報の発信拠点として活用。 ②文化:398席の文化ホールで、音楽、演劇、講演会等に活用。 ③福祉:社会福祉協議会事務所を中心に活動を行う。 ④教育:学習室などを活用し、生涯学習の場として利用。



完成イメージ図

■企画観光課

☎(72)1131

# ≡ 大子町障害福祉計画(第2期計画)を策定 ≡

町では、平成21年度から平成23年度を計画期間とする第2期大子町障害福祉計画を策定しました。この計画は、第1期計画期間(平成18年度～平成21年度)における障害福祉サービスの利用実績や障害者の現状等を検証するなかで、障害者が自立した家庭生活や社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービス見込み量や推進方策等を定めたものです。

障害福祉計画における、障害福祉サービスと地域生活支援事業の具体的な内容は次のとおりです。

## ≪障害福祉サービス≫

	サービスの種類	内 容
介 護 給 付	居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で入浴、排泄、食事等の介護支援
	重度訪問介護	自宅で排泄、食事等の介護、外出時の移動支援など総合的支援
	行動援護	危険を回避するために必要な支援や外出における支援
	児童デイサービス	日常生活の基本動作の指導、集団生活への適応訓練等
	短期入所	短期間、夜間も含め施設で入浴、排泄、食事等の介護支援
	重度障害者等包括支援	居宅介護等複数のサービスを包括的に支援
	療養介護	機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援
	生活介護	昼間に食事等の介護などを行うとともに、創作活動等の機会提供
	施設入所支援	施設に入所する方に、夜間や休日に入浴、排泄、食事の介護支援
	共同生活介護	夜間や休日に共同生活を行う住居で、食事等の介護支援
訓 練 等 給 付	自立訓練	身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練の実施
	就労移行支援	就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練の実施
	就労継続支援	働く場の提供と就労に必要な能力向上のために必要な訓練の実施
	共同生活援助	夜間や休日に共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の支援

(費用の1割は原則として自己負担ですが、所得に応じて負担軽減策が講じられています。)

## ≪地域生活支援事業≫

- ◆相談支援事業  
障害福祉に関する助言や指導(無料)
- ◆コミュニケーション支援事業  
手話通訳者や要約筆記者の派遣(無料)
- ◆移動支援事業  
ヘルパーの派遣による外出の支援(費用の5%自己負担)
- ◆日中一時支援事業  
施設における一時的な介護や見守り(費用の5%自己負担)
- ◆日常生活用具給付事業  
特殊寝台やストマ用装具、特殊マット、痰吸引器、特殊便器、電磁調理器、尿管器、頭部保護帽等の生活用具の給付(費用の1割自己負担)
- ◆地域活動支援センター事業  
創作的活動や社会的交流を図ることができます。各種の相談にも応じています。  
「メンタルサポートステーションきらり」 ☎0295(72)5933
- ◆訪問入浴サービス事業  
移動入浴車による入浴サービス(費用の5%自己負担)
- ◆その他の事業  
更生訓練費支給事業、就職支度金支給事業、身体障害者自動車運転免許取得費助成事業、身体障害者自動車改造費助成事業



※ 利用方法や詳しい内容については、役場福祉課にお問い合わせください。なお、障害福祉計画(第2期計画)の全文を、大子町のホームページに掲載しています。

# あなたの育児を サポートします 「病児・病後児保育事業」

働きながら子どもを育てていて、なによりもつらいのは、子どもが病気になったときです。

こんなとき、あなたの育児をサポートしてくれるのが「病児・病後児保育事業」です。お子さんが病気療養中又は病気の回復期にあり、保護者が勤務の都合等により家庭における保育や集団保育が困難な状況にあるとき、町が委託する医療機関でお子さんを一時的にお預かりする事業です。

## ●お預かりできるのは、次のいずれにも該当するお子さんです

- ①生後2か月から小学校6年生までのお子さんであること
- ②病気療養中又は病気の回復期にあること
- ③保護者が勤務の都合、傷病、事故、出産、冠婚葬祭等により家庭における保育が困難であること

## ●お預かりできる病気の範囲

- ▽かぜや下痢など、子どもが日常にかかる病気
- ▽水ぼうそう、風しんなどの感染症疾患
- ▽ぜんそくなどの慢性疾患
- ▽骨折や、やけどなどの外傷疾患

●実施施設 医療法人 保内郷厚生会 保内郷病児保育室「ひまわり」  
(保内郷メディカルクリニック内)  
☎(72)0179

●保育時間 平日 午前8時～午後5時30分  
土曜日 午前8時～午後0時30分  
※ 必要に応じて7日間まで継続利用できます。

●休業日 日曜日、祝日、年末年始(12月30日～1月3日)、盆休み(8月13日～15日)

●利用料金 お子さん1人当たり 1日 2,000円  
(半日 1,300円、延長を希望する場合は30分ごとに200円)  
※ 昼食代は実費負担となります。当日、施設でお支払いください。  
※ 利用期間中に症状が悪化し、治療が必要になる場合は、医療保険の対象となります。

## ●利用方法

- ①利用を希望する方は、直接実施施設に電話予約をしてください。  
(夜間、早朝でも予約可能です。)  
※ 緊急の場合は、当日でも受け付けます。
- ②当日、利用申請書を実施施設に提出してください。  
(利用申請書は、各保育所(園)、幼稚園、各小学校、福祉課及び実施施設にあります。)  
※ 申請書類は、大子町役場ホームページからもダウンロードできます。初めて利用する際は、登録申請書も併せて提出してください。

## ●利用当日に持参するもの

- ▽利用申請書
- ▽利用負担金
- ▽健康保険証
- ▽母子手帳
- ▽紙おむつ(使用の場合)
- ▽ミルク・哺乳瓶
- ▽好きなおもちゃ
- ▽薬(薬剤情報提供書又はお薬手帳も一緒にお持ちください。)
- ▽洋服の着替え・下着
- ▽おやつ・飲み物は、好きなものを持参してください。

## ●その他

- ▽お子さんがアレルギー食・離乳食の場合は、必ず食事をご持参ください。
- ▽お迎えは保育終了時間の10分前までにお願いします。
- ▽症状に変化があった場合は、医師の診察や保護者にお迎えをお願いすることがあります。
- ▽利用定員が1日4名となっているため、利用できない場合もありますので、ご了承ください。

■福祉課社会福祉グループ ☎(72)1117







# 未来へつなぐ この一票



## 8月30日(日)は



茨城県知事選挙  
衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査



### の投票日です

★投票時間

午前7時～午後6時

■大子町選挙管理委員会 ☎(72)1140

## 子育て応援情報誌『げんき』を発行

『げんき』は、これから出産されるお母さんや、子育て中のお父さん・お母さんのために、子育てに関する情報やアドバイス、町内で行われている子育て中の親子を対象とした事業などを紹介しています。また、「どこへ相談に行ったら良いのか」「身近に友だちがない」といった、不安感や孤立感を抱えながら子育てを頑張っている家庭を応援したいと願い、情報誌として発行しました。

情報誌は、保育所・幼稚園等の保護者の皆さんに配布したほか、福祉課窓口でどなたにでも差し上げています。



子育て応援情報誌 げんき

■福祉課 ☎(72)1117

## 9月の納付のお知らせ

★国民健康保険税

3期分

★介護保険料

3期分

★後期高齢者医療保険料

3期分

納期限は、

**9月30日**(水)です。

■税務課 ☎(72)1116

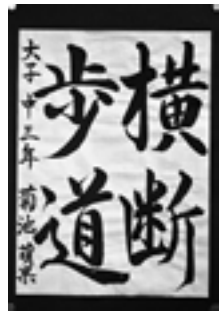
### 交通安全町民大会



第35回大子町交通安全町民大会が、7月15日に中央公民館講堂で開催されました。大会では、交通安全模範推進者と第46回交通安全子供自転車大会に出場した下野宮小学校と選手の皆さんに感謝状が、交通安全子ども作品コンクール入賞者に賞状が贈られました。

その後、交通安全「私の主張」発表が行われ、7名中学生5名、高校生2名が実際に体験した話などを交えながら、命の大切さを訴えました。

《交通安全子ども作品コンクール最優秀賞》  
大子町長賞



(だいが小 6年 藤島美月)

### 公開授業

7月21日に大子町小・中連携教育推進のため坪田耕三教授(筑波大学)による算数の公開授業が、中央公民館講堂で行われました。

公開授業は、だいが小小学校の6年生53名を対象に、紙を折ったり、切ったりして、手を使って考える授業が行われました。児童たちは、意欲的に講師の先生の話を聞き、楽しそうに授業を受けていました。

授業終了後は、町内の各小・中学校の先生を対象とした研修会とグループ協議が行われました。

講師の坪田教授は、国内最高と評される読売教育賞を受賞するなど算数教育の第一人者として活躍。現在は筑波大学教授。



### 少年サッカー大会「若鮎杯」

8月1日・2日の2日間、大子広域公園で奥久慈大子少年サッカー大会「若鮎杯」が行われました。

大会には、東京や埼玉などから18少年団・43チームが参加し、6年生・5年生・4年生の部に分かれ、暑さに負けず元気に走り回り、熱戦を繰り広げました。

試合には、保護者の皆さんが観戦に訪れ、チームを鼓舞するように大声援を送り、勝利を願って応援していました。

試合会場となった多目的広場の周辺には、少年団ごとに大小さまざまな色とりどりのテントが張られ、選手や保護者の皆さんの休憩スペースとして利用され、チーム一丸となって試合に挑んでいるようでした。

### 鮎のしかみどり

8月2日に、奥久慈大子の夏の風物詩となっている「鮎のつかみどり大会」が行われました。

久慈川・押川合流点に設置された特設会場には、鮎、ます、鰻など約10,000尾が放流され、県内外から訪れた1,800人を超える人たちが、開始の合図と同時に一斉に水の中に入り、大人も子どもも夢中になって魚を捕まえていました。

参加者の中には、鰻を捕まえ、ラックキー賞としてマウンテンバイクを手にした方や思うように魚を捕まえることができなくて苦戦している方もいました。

あまり魚を捕まえることができなかった方、リベンジをするために来年もぜひ参加してください。





日々の生活に

運動を取り入れましょう



保健コーナー

現代人は  
運動不足です

人間は動物の一種です。食べ物を得るために、自分の身を守るために、歩き、走り、動くことで、人間は生き残ってきました。体のしくみも、動くことで健康な状態を維持できるようになっています。

しかし、今の私たちは、できるだけ動かないような生活をしています。そして現代社会の便利さは、私たちの体に悪い影響を及ぼし始めました。それが生活習慣病です。生活習慣病は運動不足も一因となっています。

平成16年の大子町の調査では、85%の人が運動不足と感じていました。

◎運動不足が続くと体に悪影響を及ぼします

- 糖尿病や脂質異常症、高血圧などの生活習慣病の一因となります。
- 脳血管疾患や心疾患、腎不全などが起こりやすくなります。

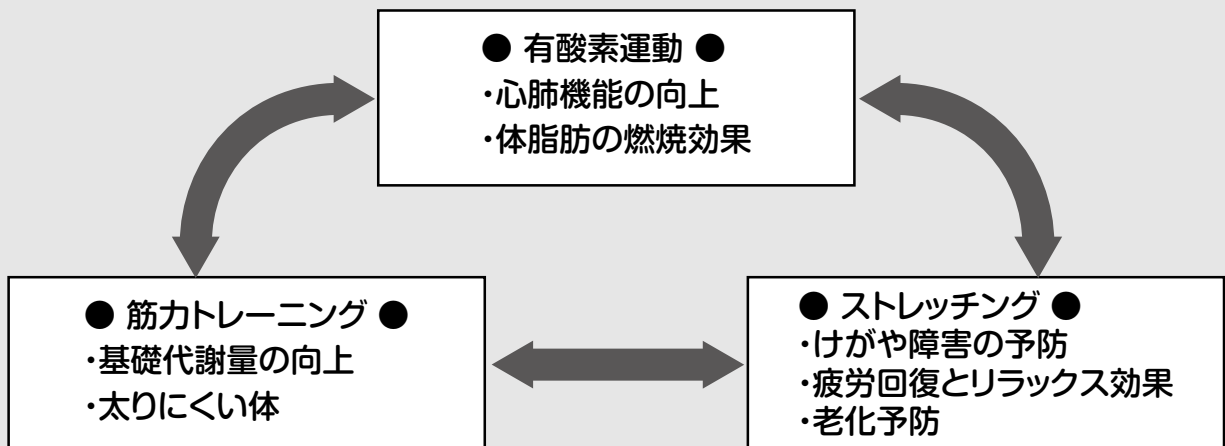
◎運動をするとこんなにいいことがあります

- 生活習慣病を予防することができます。
- 血液の循環がよくなり、心肺機能が向上します。
- 筋肉の衰えを防止し、体力を強化できます。
- 骨粗しょう症を予防することができます。
- ストレスの解消になります。
- 脳を活性化します。



◎健康づくりのためには3つの運動を組み合わせよう

運動はウォーキングなどの「有酸素運動」、筋力をつける「筋力トレーニング」、筋肉をほぐしリフレッシュ効果のある「ストレッチング」を組み合わせ取り入れていきましょう。それぞれ運動効果が異なるので、バランスよく行うと効果的です。



◎無理なくできることから始めましょう

運動を始めようと思っても、「時間がない」「面倒くさい」という方もいると思います。しかし、毎日の生活の中には、体を動かすチャンスがあります。近くに出掛ける時は車を使わずに歩く、テレビを見ながらストレッチをするなど、まず体を動かすことから始めましょう。気がついた時が始める時です。

2009

9

## カレンダー

長月・SEPTEMBER



## 連絡先

①中央公民館 (72)1148  
 ②リフレッシュセンター (72)1149  
 ③保健センター (72)6611  
 ④高齢者センター (72)2005  
 ⑤役場庁議室  
 ⑥役場第1会議室  
 ⑦役場第1分室会議室  
 ⑧総務課 (72)1114  
 ⑨企画観光課 (72)1138  
 ⑩町民課 (72)1112  
 ⑪福祉課 (72)1117  
 ⑫健康増進課 (72)6611  
 ⑬地域包括支援センター (72)1175  
 ⑭生涯学習課 (72)1148  
 ⑮消防本部 (72)0119  
 ⑯社会福祉協議会 (72)2005

日付	行事名	場所	時間	対象者	問合せ
1(火)	定期健康相談	保	13:30~15:00	一般	健
2(水)	心配ごと相談	高	13:00~15:00	一般	協
3(木)					
4(金)	巡回労働相談	公	10:00~14:30	一般	企
5(土)					
6(日)					
7(月)	「お知らせ版」9月号発行				
8(火)	定期健康相談	保	13:30~15:00	一般	健
9(水)	心配ごと相談	高	13:00~15:00	一般	協
10(木)					
11(金)					
12(土)					
13(日)					
14(月)					
15(火)	一日社会保険事務所 定期健康相談	庁 保	10:00~14:00 13:30~15:00	一般 一般	民 健
16(水)	心配ごと相談	高	13:00~15:00	一般	協
17(木)	献血(大子清流高等学校)		10:00~15:30	一般	健
18(金)	巡回労働相談	公	10:00~14:30	一般	企
19(土)					
20(日)					
21(月)	敬老の日				
22(火)	国民の休日				
23(水)	秋分の日				
24(木)	「広報だいで」10月号発行				
25(金)	就職支援出張相談	公	10:00~15:00	一般	企
26(土)					
27(日)					
28(月)	こころの相談 献血(消防本部) (河内屋池田店)	保	13:00~16:00 10:00~11:00 12:30~16:00	要予約 一般 一般	健 健 健
29(火)	定期健康相談	保	13:30~15:00	一般	健
30(水)	心配ごと相談	高	13:00~15:00	一般	協

主な行事等を掲載しましたが、日時等が変更になる場合があります。

## 救急協力当番病院

月日	病院
8月20日(木)~ 23日(日)	久保田病院
24日(月)~ 30日(日)	慈泉堂病院
31日(月)~ 9月 6日(日)	保内郷メディカルクリニック
9月 7日(月)~ 10日(木)	久保田病院
11日(金)~ 13日(日)	慈泉堂病院
14日(月)~ 20日(日)	久保田病院
21日(月)~ 27日(日)	慈泉堂病院
28日(月)~ 30日(水)	保内郷メディカルクリニック

慈泉堂病院 ☎(72)1550

久保田病院 ☎(72)0023

保内郷メディカルクリニック ☎(72)0179

## 町の人口と世帯

平成21年  
8月1日現在

★人口 21,098人 (- 9/-419)

男 10,373人 (- 2/-218)

女 10,725人 (- 7/-201)

★世帯数 7,789戸 (+ 13/+ 25)

(前月比/前年比)

10月1日から

# 大子町パスポート窓口を開設



10月1日から大子町に住民登録のある方のパスポート（旅券）の申請や受領は、町民課の窓口のみの取り扱いとなります。大子町に本籍がある方は、戸籍抄本の取得とパスポートの申請が、町民課1か所で済むようになります。

なお、受領の時に必要な収入印紙と茨城県収入証紙の購入先については、申請に来た時に町内にある販売店を紹介します。

- ◆パスポート窓口 大子町役場本庁舎1階 町民課内
- ◆開設時間 月～金曜日（祝日、年末年始を除く。）  
午前8時30分～午後5時（正午から午後1時まで休止）

【写真サイズ】  
原寸大



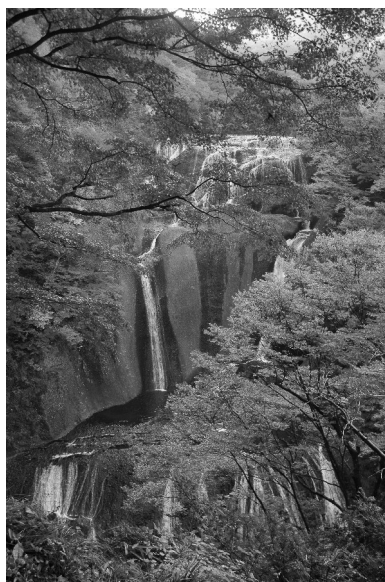
- ◆申請に必要なもの
  - 旅券発給申請書 1通（申請書は、町民課に用意してあります。）
  - 戸籍抄本 1通（6か月以内に発行されたもの。）
  - 写真（申請の6か月以内に撮影したもので、パスポート申請用規格にあったもの）
  - 申請者本人を確認できる書類（運転免許証、写真付き住民基本台帳カードなど）
  - 以前に取得したパスポート（有効期間が残っている場合は、有効な旅券を提出しないと新規の受付はできません。）
- ◆旅券の受け取り（交付）
  - 旅券は年齢に関係なく、本人でなければ受け取ることができません。
  - 手数料を、収入印紙と茨城県収入証紙で納めてください。
  - 申請時にお渡しした「引換書」が必要になります。
- ◆手数料

	手 数 料	内 訳	
		収入印紙	県収入証紙
10年有効の旅券	16,000円	14,000円	2,000円
5年有効の旅券	11,000円	9,000円	2,000円
申請時12歳未満	6,000円	4,000円	2,000円



- ◆注意点
  - 未成年（20歳未満）の方が申請する場合は、5年旅券のみとなります。
  - 10月1日以降は、県パスポートセンター等での手続きはできなくなります。

■町民課町民グループ ☎(72)1112





# フォトだいいご

# アート

## 食の三要素で食育推進



学校給食センターのシャッターに、『食の3要素』のイラストが完成しました。

作業は、大子中学校の美術部、美術部OB、ボランティアの皆さんが協力して行い、赤は「血や肉や骨になる食品」、黄は「熱や力になる食品」、緑は「体の調子を整える食品」と、『食の3要素』の見事なイラストが描かれました。

学校給食センターでは、社会科見学や遠足などで訪れる子ども達の勉強の場として、積極的な食育の推進を図っています。

皆さんも、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

※『広報だいいご』に掲載されている写真を希望の方は総務課(☎72-1114)にご連絡ください。

